

東京フロイデ合唱団 第19回演奏会

ベートーヴェン 交響曲第九番「合唱」

レオノーレ序曲第3番



ソプラノ
三井清夏



メゾソプラノ
林美智子



指揮 小松長生



テノール
福井 敬



バリトン
宮本益光

管弦楽 日本フィルハーモニー交響楽団
合唱 東京フロイデ合唱団 合唱指導 富澤 裕

2016年 **12月4日(日)** 午後2時30分開演 (午後2時開場)

**東京芸術劇場
コンサートホール**

■チケット申込み(8月31日(水)予約受付開始)

東京フロイデ合唱団 TEL **03-5940-0731** (平日午前11時~午後4時)
FAX 03-6304-1688 メール t-freude@tg8.so-net.ne.jp

■全指定席 S席 5,000円 A席 4,000円 B席 3,000円 C席 2,000円 D席 1,000円

主催:東京フロイデ合唱団 ホームページ <http://t-freude.wix.com/andiefreude>
後援:国際連合広報センター/東京都/豊島区/東京都社会福祉協議会/公益財団法人さわやか福祉財団/東京都生活協同組合連合会/生活協同組合・東京高齢協

★お願い★ 団員への花束など贈り物は、はなはだ勝手ながらご辞退させていただきます。

東京フロイデ合唱団

第47回国際連合の「国際高齢者年」の決議を機に「人生の完成期に生涯忘れられない感動を」と「東京高齢者合唱団」が設立され、1999年から毎年「第九」を歌って来ました。2006年には「東京フロイデ合唱団」と改称して、もっと幅広い年齢層に参加を呼び掛けて演奏活動をしています。発足以来「参加資格はやる気だけ」のスローガンで、初心者にも、いつでも門戸を開いており、世代を超えて共に「歓喜の歌」を響かせています。毎年の「5000人の第九」(国技館)への参加、2008年の「世界九条会議」(幕張メッセ)にも参加して多くの人々と合唱しており、歌を通じて世界平和を希求しています。オーケストラは日本フィルハーモニー交響楽団、指揮は外山雄三マエストロに長い間タクトを振って頂きましたが、現在は小松長生マエストロに指揮をお願いし、富澤裕先生の合唱指導、江原郊子先生のピアノ、越智容子先生のヴォイストレーニングで一歩一歩合唱力を高めています。



合唱指導
富澤 裕



ピアノ
江原郊子



ヴォイストレーナー
越智容子

出演者紹介

Profile



©K.Miura

指揮 小松長生 (こまつ ちようせい)

福井県生まれ。東京大学美学芸術学科、イーストマン音楽院大学院指揮科卒。エクソン指揮者コンクール優勝。パッファロー管エクソン派遣指揮者、ポルティモア響アソシエート、キッチンナー・ウォータール交響楽団及びカナダ室内アンサンブル音楽監督、武生(たけふ)国際音楽祭音楽監督、東京フィルハーモニー交響楽団正指揮者等を経て、2011年よりコスタリカ国立交響楽団桂冠指揮者及び、セントラル愛知交響楽団名誉指揮者。これまでにモントリオール響、ケルン放送響、プラハ放送響、北ドイツフィル、ポリショイ劇場、キエフ国立オペラ、ソウルフィル、香港フィル、モスクワ放送響、ヴェネズエラ国立響、「東急ジルバスターコンサート」、「題名のない音楽会」、「NHK BS プレミアム」、「NHKららクラシック」、TBS「砂の器」(千住明 作曲、羽田健太郎/日本フィル)、ベルリンフィルハーモニー創立50周年記念日独第九演奏会、トヨタレクサス用マークレピンソン搭載10周年記念CD(新日本フィルハーモニー)などを指揮。五嶋みどり・龍、堤剛、ヒラリー・ハーン、ラン・ラン、小曾根真、ジェームス・ゴールウェイ、レナート・ブルボン、石井竜也、谷村新司、東儀秀樹らジャンルを超えたアーティスト達とのコラボレーションも注目を集めている。金城学院大学教授。音楽芸術学博士。著書「リーダーシップは「第九」に学べ」(日本経済新聞出版社)。



ソプラノ 三井清夏 (みつい さやか)

長野県出身。国立音楽大学音楽学部演奏学科声楽専修卒業並びにオペラソリストコース修了。在学時にソロ・室内楽定期演奏会、卒業演奏会、長野県新人演奏会に出演。同大学院音楽研究科修士課程声楽専攻オペラコース修了。修了時に新人演奏会出演。同大学院オペラ公演「ドン・ジョヴァンニ」ツェルリーナ役、「コジ・ファン・トゥッテ」デスピーナ役にて出演。二期会オペラ研修所第55期マスタークラス修了時に奨励賞及び優秀賞受賞。第87・88回二期会オペラ研修所コンサート、二期会新進声楽家のつばに出演。二期会創立60周年記念東京二期会「こうもり」ロザリンデ役アンダースタディを務める。2015年11月東京二期会「ウィーン気質」ではフランツィスカ・キャリア役に抜擢され、二期会デビューを果たした。二期会会員。



©toru hiraiwa

メゾソプラノ 林美智子 (はやし みちこ)

東京音楽大学卒業。桐朋学園大学研究科、二期会オペラスタジオ、新国立劇場オペラ研修所第1期修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてミュンヘンに留学。2003年国際ミロプロロス声楽コンクール最高位入賞。第5回ホテルオークラ音楽賞受賞。二期会、新国立劇場を中心に数多くのオペラに出演、2015年には紀尾井ホールにて「オリンピアアデ」のアルジェーネ、日生劇場にて「ドン・ジョヴァンニ」エルヴィーラ役と、初役に挑み卓越した歌唱と抜群の存在感を示した。チョン・ミョンフン、パーヴォ・ヤルヴィなど国内外の指揮者と主要オーケストラに共演を重ねる他、オペラ界のトップアーティストが揃う「NHKニューイヤーパーティコンサート」には2005年から連続出演。人気、実力ともに群を抜くメゾソプラノとして活躍する。CDは、「赤と黒」「地球はマルイゼー・武満徹SONGS」、「ベル・エクサントリック〜林美智子ベル・エボック歌曲集」をリリース。オフィシャルホームページ <http://www.michikohayashi.com/>



テノール 福井敬 (ふくい けい)

国立音楽大学卒業、同大学院修了及び文化庁オペラ研修所修了。文化庁派遣芸術家在外研修員として渡伊。イタリア声楽コンクールソプラノ大賞、五島記念文化賞オペラ新人賞、ジロー・オペラ賞、芸術選奨文部大臣賞新人賞、出光音楽賞、エクソンモービル音楽賞洋楽部門本賞と受賞多数。92年二期会創立40周年「ラ・ボエーム」ロドルフォで鮮烈デビュー。以来、我が国を代表するテノールとしてオペラ・コンサートで目覚ましい活躍を続け、新国立劇場、東京二期会を中心にテノールの主役を一手に引き受け、活躍を続けている。中でも「トゥーランドット」カラフ役は様々なプロダクションで絶大な称賛を得ている。「第九」や宗教曲のソリストとしてもN響を始め主要楽団と共演、多くの国際的指揮者から信頼を得ている。CDは「君を愛す」、「この道 / 福井敬、故郷を歌う」、「悲しくなったときは」等多数。国立音楽大学教授。東京芸術大学非常勤講師。二期会会員。福井敬ファンサイト=<http://www.fukuikei.net/>



バリトン 宮本益光 (みやもと ますみつ)

東京芸術大学卒業、同大学院博士課程修了。「ドン・ジョヴァンニ」タイトルロールで衝撃的な二期会デビューを飾り、近年では新国立劇場「鹿鳴館」清原永之輔、「夜叉が池」学円(いずれも世界初演)、「こうもり」ファルケ、「チャールダーシュの女王」フェリ、日生劇場開場50周年記念「メデアイヤソン」、「リア」(日本初演)オルバニー・侯爵、神奈川県民ホール40周年記念「金閣寺」溝口等、常に大舞台で活躍。16年9月にはあいちトリエンナーレ「魔窟」パバケーノで出演。古典作品から現代作品、邦人作品までそのレパートリーは幅広く、コンサートでも読売日響、東京交響楽団、日本フィル、仙台フィル等と共演を重ねている。演奏のみならず作詞、訳詞、執筆、企画、演出など多様な才能を発揮し、創造性溢れるステージで常に聴衆を魅了している。CD「おやすみ」、「あしたのうた」、「碧のイタリア歌曲」をリリース。聖徳大学音楽学部准教授。二期会会員

日本フィルハーモニー交響楽団



1956年6月創立。楽団創設の中心となった渡邊暁雄が初代常任指揮者を務めました。2016年9月にピエタリ・イソキネンが首席指揮者に就任へ、桂冠指揮者兼芸術顧問(2016年9月〜)アレクサンドル・ラザレフ、桂冠名誉指揮者小林研一郎、正指揮者山田和樹、そしてミュージック・パートナー西本智実という充実した指揮者陣を中心に、さらなる演奏力の向上を目指しています。「オーケストラ・コンサート」、「エデュケーション・プログラム」、「リジョナル・アクティビティ(地域活動)」という三つの柱で活動を行い、「音楽を通して文化を発信」してまいります。1975年から続く「夏休みコンサート」をはじめ、音楽によって子どもたちの創造性をはぐくむ創作ワークショップも広く展開。全国で学校や施設を訪問しコンサートを行うほか、地元杉並区では「60からの楽器教室」といったシニア世代への活動も積極的に行っております。2011年4月より、聴衆からの募金をもとにボランティア活動「被災地に音楽を」を開催。2016年6月末までにその公演数は193を超えております。※日本フィルは内閣府より公益認定を受け、2013年4月1日より「公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団」と名称変更致しました。

会場案内図

